

高岡開町400年記念イベント実行委員会

と き 平成19年7月3日 午後4時～
ところ ウイング・ウイング高岡 4階 ホール

会 議 次 第

1. 開 会
2. 経過報告資料 1
3. 委員の紹介
 設立趣意書資料 2
 委員名簿資料 3
4. 仮議長の選出
 会則の承認について資料 4
5. 議案審議
 監事、常任委員の指名について
 顧問、参与の委嘱について
 平成19年度事業概要(案)及び収支予算(案)について資料 5
6. 報告事項
 シンボルマークについて資料 6
 キャッチフレーズについて資料 7
 キャラクターについて資料 8
7. 開町400年記念イベント企画案の概要別 紙
8. 閉 会

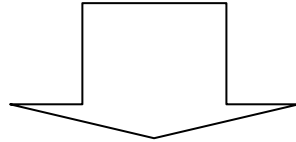
以上

高岡開町400年記念事業の経過について

高岡開町400年記念事業検討懇談会

構成 会長 西頭徳三富山大学学長、委員27名
設置 H16.12.3 ~ H18.3.30

市民提案プロジェクト
「まち・ゆめ・400」
(10代から70代までの50名)



高岡開町400年記念事業に関する報告書(H18.3.30)

1. 基本理念 「歴史と出会い」「今日を祝い」「未来へ歩む」
2. 事業構成 記念事業・イベント案、記念施設、記念出版、広報宣伝に関する実施に向けた基本的事項
3. キーワード 「市民参加」「高岡の発信」

高岡開町400年記念イベント実行委員会設立準備検討委員会

構成 委員長 高柳卓三高岡商工会議所副会頭、委員15名
設置 H19.2.27 ~ H19.6.25
内容 実行委員会の構成、運営方法、会則等
基本理念に沿った記念事業案の見直し・検討



高岡開町400年記念イベント実行委員会設立準備 検討委員会ワーキンググループ(17名)

内容 検討委員会を効率的に運営するために
高岡開町400年記念事業検討懇談会の
ワーキンググループを中心に組織

高岡開町400年記念イベント実行委員会

設置 平成19年7月3日

高岡開町 400 年記念イベント実行委員会
設立趣意書

慶長 14 年（1609 年）、加賀藩二代藩主前田利長公は、当時関野と呼ばれていたこの地に城を築き、詩経の一節に因んで「高岡」と命名しました。城下には、以前住んだ守山や富山をはじめ木舟などの領内はもとより、利長公を慕って各地から人が集り、はじめてまちが形作られ、ここに高岡のまちの歴史が始まりました。また、金屋には鋳物師が呼び寄せられ、ものづくりの町としての第一歩が踏み出されました。

しかし、慶長 19 年に利長公がこの地で薨じ、翌年の幕府の一国一城令により高岡城が廃城と決まると、まちは急速に寂れる様相をみせます。三代藩主利常公は、敬愛する兄の開いたこの町が廃れてしまうことを惜しみ、さまざまな庇護を与えて商工のまちとして再生を図りました。以来高岡は、幾多の困難に見舞われながらも、この地に生きた先人たちの不断の努力によって乗り越え、闊達な町衆の商業力ともものづくりへの情熱をもってまちの繁栄を築いてきました。

おかげさまで、今日、私たちは国宝瑞龍寺、重要文化財勝興寺、高岡御車山などの優れた文化資産や、雅楽をはじめとする質の高い文化、そしてアルミ産業に代表される高度なものづくりの技を受け継ぎ、花咲かせております。

平成 21 年（2009 年）、私たちのまち高岡は、利長公の高岡入城以来 400 年目の節目の年を迎えます。この記念すべき年に居合わせる私たちは、先人たちが築き上げてきたこの町の来し方に今一度思いをいたし、感謝するとともに、開町 400 年を祝い、明日の高岡の創造に向けた第一歩を力強く踏み出して行かなくてはなりません。

高岡開町 400 年記念イベント実行委員会では、このような観点に立って、「歴史と出会い」「今日を祝い」「未来へ歩む」を基本理念に掲げて、市民の総ぐるみで各種記念イベントに取り組み、高岡市の新たな飛躍にむけたスプリング

ボードとして参りたいと考えています。

また、平成 20 年の東海北陸自動車道の全通、平成 26 年度の北陸新幹線開業が迫る中、この開町 400 年記念イベントを高岡を発信する千載一遇のチャンスととらえ、「誰もが行きたいまち高岡」「誰もが住みたいまち高岡」の創造を内外に向けて大いにアピールしていきたいと考えております。

どうか皆様方におかれましては、この趣旨を十分にご理解いただき、実行委員会の設立にご参加いただきますようお願い申し上げます。

平成 19 年 6 月 吉日

各 位

高岡開町 400 年記念イベント実行委員会

設立発起人 高岡市長 橘 慶一郎

高岡商工会議所会頭 南 義弘

高岡市議会議長 二上 桂介

高岡開町400年記念イベント実行委員会 名簿 (案)

役 職	団 体 名 ・ 所 属 名	氏 名	備考
委 員	高岡市長	橘 慶一郎	
〃	高岡商工会議所 会頭	南 義弘	
〃	高岡市議会議長	二上 桂介	
〃	高岡市副市長	奥田 紀元	
〃	高岡市副市長	高田 哲	
〃	高岡市議会副議長	盤若 進二	
〃	高岡市議会開町400年記念事業特別委員長	山沼 茂敏	
〃	高岡市議会総務文教常任委員長	梅田 信一	
〃	高岡市議会民生病院常任委員長	館 勇将	
〃	高岡市議会経済消防常任委員長	松崎 義彦	
〃	高岡市議会建設水道常任委員長	高畠 義一	
〃	高岡商工会議所 副会頭	中村 絢一	
〃	高岡商工会議所 副会頭	竹平 栄太郎	
〃	高岡商工会議所 副会頭	高柳 卓三	
〃	高岡商工会議所 副会頭	塩谷 雄一	
〃	戸出商工会会長	大井 弘	
〃	中田商工会会長	吉田 一郎	
〃	福岡町商工会会長	越井 政雄	
〃	高岡市連合自治会会長	水名 昭二	
〃	地域女性ネット高岡会長	辻 やす子	
〃	高岡女性の会連絡会会長	向 富士子	
〃	高岡市老人クラブ連合会会長	村中 貢	
〃	高岡市農業協同組合代表理事組合長	穴田 甚朗	
〃	いなば農業協同組合副組合長理事	成田 戦一	
〃	(社)高岡アルミニウム懇話会会長	竹平 栄太郎	
〃	(協)高岡建設業協会会長	山本 隆	
〃	伝統工芸高岡銅器振興協同組合理事長	元井 實	
〃	伝統工芸高岡漆器協同組合理事長	国本 樹郎	
〃	高岡銅器協同組合理事長	松永 彰	
〃	高岡銅合金協同組合理事長	高辻 秀行	
〃	(協)高岡問屋センター理事長	永田 義邦	
〃	高岡青果市場協同組合理事長	田井 佳夫	
〃	高岡水産物市場協同組合理事長	藤川 正司	
〃	高岡水曜会代表 東亜合成(株)高岡工場長	安田 保太郎	
〃	木曜会代表 日本曹達(株)高岡工場長	鷹見 伸佳	
〃	福岡町工場協会会長	増岡 一郎	
〃	高岡市商店街連盟会長	河合 晋	
〃	(株)大和高岡店 取締役店長	道上 俊次	
〃	イオンショッピングセンター ゼネラルマネジャー	西野 克彦	

役 職	団 体 名 ・ 所 属 名	氏 名	備考
〃	高岡市ホテル旅館事業協同組合理事長	関 久幸	
〃	(社)高岡青年会議所理事長	野上 和義	
〃	高岡商工会議所青年部会長	伊藤 雄一郎	
〃	高岡商工会議所女性会会長	伊勢 春枝	
〃	高岡伝統産業青年会会長	藤田 善啓	
〃	伏木商工業青年部会会長	金田 健一	
〃	J A高岡青年部部長	寺岡 紀夫	
〃	J A高岡女性部部長	林 道子	
〃	高岡市芸術文化団体協議会会長	細呂木 六良	
〃	高岡市美術作家連盟委員長	中村 喜久雄	
〃	福岡町芸術文化協会会長	川島 恵子	
〃	高岡市公民館連絡協議会会長	岡本 孝平	
〃	高岡市PTA連絡協議会会長	水口 清志	
〃	高岡市児童クラブ連合会会長	館 勇将	
〃	高岡市民レクリエーション協会会長	宮本 弥生	
〃	(財)高岡市体育協会会長	荒井 公夫	
〃	高岡市体育振興会会長	山沼 茂敏	
〃	富山大学芸術文化学部学部長	前田 一樹	
〃	高岡法科大学学長	吉原 節夫	
〃	高岡市中学校長会会長	米田 淳一	
〃	高岡市小学校長会会長	吉田 人史	
〃	日本ボーイスカウト高岡地区協議会会長	森田 喜義	
〃	ガールスカウト高岡地区協議会会長	橘 カオル	
〃	高岡市国際交流協会会長	北村 耕一郎	
〃	(社福)高岡市社会福祉協議会会長	澤田 英明	
〃	高岡市身体障害者協会会長	堀 まり子	
〃	(社)高岡市医師会会長	深島 丘也	
〃	(社)高岡市歯科医師会会長	岩崎 弘治	
〃	連合富山高岡地域協議会議長	田嶋 達也	
〃	高岡ロータリークラブ会長	菅野 淳一	
〃	高岡西ロータリークラブ会長	中田 信行	
〃	高岡北ロータリークラブ会長	早川 勇	
〃	高岡万葉ロータリークラブ会長	高嶋 志郎	
〃	高岡ライオンズクラブ会長	朝山 隆	
〃	高岡古城ライオンズクラブ会長	中村 喜進	
〃	高岡志貴野ライオンズクラブ会長	玉井 晶夫	
〃	高岡南ライオンズクラブ会長	南部 祥雲	
〃	高岡中央ライオンズクラブ会長	島 憲一	
〃	高岡伏木ライオンズクラブ会長	山下 光造	
〃	高岡フラワーライオンズクラブ会長	新田 昭一	
〃	国際ソロプチミスト高岡会長	村上 富美子	
〃	高岡古城公園を愛する会会長	岡 正	

役 職	団 体 名 ・ 所 属 名	氏 名	備考
〃	高岡南部地域活性化推進協議会会長	羽場 光明	
〃	未広開発(株)代表取締役社長	荒井 公夫	
〃	高岡御車山保存会年番代表	若森 征雄	
〃	伏木曳山まつり実行委員会会長	塩谷 雄一	
〃	万葉集全20巻朗唱の会にいざなう会会長	玉井 晶夫	
〃	つくりもんまつり実行委員会委員長	竹島 健	
〃	(社)高岡市観光協会会長	南 義弘	
〃	伏木観光推進センター会長	高田 弘	
〃	福岡町観光協会会長	石澤 義文	
〃	高岡市ボランティア連絡協議会会長	津幡 敬子	
〃	高岡市観光ガイドボランティアグループ「あいの風」代表	中井 明子	
〃	高岡山瑞龍寺住職	四津谷 道昭	
〃	雲龍山勝興寺住職	土山 照慎	
〃	高岡警察署長	辰尾 貞義	
〃	JR西日本高岡駅長	吉田 雅登	
〃	加越能鉄道(株)代表取締役社長	桑名 博勝	
〃	万葉線(株)代表取締役社長	竹平 栄太郎	
〃	北日本新聞社取締役高岡支社長	梅本 清一	
〃	富山新聞社本社代表	宮本 佐智夫	
〃	読売新聞社北陸支社長	岸 洋人	
〃	北陸中日新聞社高岡支局長	逢澤 哲明	
〃	毎日新聞社富山支局長	相原 洋	
〃	朝日新聞富山総局長	森 聡	
〃	共同通信社富山支局長	谷 俊宏	
〃	日本放送協会富山放送局局長	平石 富男	
〃	北日本放送(株)代表取締役社長	横山 哲夫	
〃	富山テレビ放送(株)代表取締役社長	上田 宗彦	
〃	(株)チューリップテレビ代表取締役社長	池森 武宣	
〃	富山エフエム放送(株)代表取締役社長	北川 敏範	
〃	高岡ケーブルネットワーク(株)代表取締役社長	南 義弘	
〃	(株)ラジオたかおか代表取締役社長	川原 隆平	

高岡開町 400 年記念イベント実行委員会会則（案）

（名称）

第1条 本会は、高岡開町 400 年記念イベント実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

（目的）

第2条 実行委員会は、高岡開町 400 年記念事業検討懇談会により検討された高岡開町 400 年記念事業に関する報告書に基づき、開町 400 年記念イベントを企画、実施するものとし、これを通して、市民の心のふれあいと連帯意識を育み、高岡市の新たな飛躍に寄与することを目的とする。

（事業）

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- （1） 開町 400 年記念イベントに関する事業
- （2） その他目的を達成するに必要な事業に関すること

（組織）

第4条 実行委員会は、第 2 条の目的に賛同する企業、関係団体、報道機関、及び高岡市をもって構成する。

- 2 実行委員会に常任委員会を置く。
- 3 実行委員会は必要に応じて専門部会等をおくことができる。

（役員）

第5条 実行委員会に次の役員を置く。

- （1）会長 1 名
 - （2）副会長 2 名
 - （3）常任委員 20 名以内
 - （3）監事 2 名
- 2 会長は高岡市長をもって充てる。
 - 3 副会長は、高岡商工会議所会頭及び高岡市議会議長をもって充てる。
 - 4 常任委員は、委員の中から会長が指名し、委員長及び副委員長は、常任委員の互選とする。
 - 5 監事は、委員の中から会長が指名する。

（任期）

第6条 役員及び常任委員の任期は、実行委員会が解散するまでとする。

(職務)

第7条 会長は実行委員会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。
- 3 常任委員は、常任委員会を構成し、この会則に定めることを審議する。
- 4 監事は、実行委員会の会計を監査し、総会に報告する。

(総会)

第8条 総会は、第3条の事業について審議し、決定する。

- 2 総会の議長は、会長がこれにあたる。
- 3 総会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(常任委員会)

第9条 常任委員会は、実行委員会の実施する事業の具体的運営に関し、必要な事項を審議し、決定する。

- 2 委員長は、常任委員会を招集し、議長にあたる。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。
- 4 常任委員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。
- 5 常任委員会で決した事項は、事後の総会に報告しなければならない。
- 6 常任委員会に総会の承認を得て、幹事を置くことができる。

(顧問・参与)

第10条 実行委員会に顧問及び参与を置くことができる。

- 2 顧問及び参与は、会長が委嘱する。
- 3 顧問及び参与は、重要な事項に関し、会長の諮問に応じる。

(専門部会)

第11条 専門部会は、会長が委嘱するものをもって構成する。

- 2 専門部会は、担当するイベントの企画及び運営にあたる。

(事務局)

第12条 実行委員会の事務を処理するため、高岡市役所内に事務局を置く。

- 2 事務局に事務局長及び必要な職員を置く。

(会計)

第13条 実行委員会の経費は、高岡市の支出金、寄付金、協賛金その他の収入をもってあてる。

2 実行委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年の3月31日に終わる。

(解散)

第14条 実行委員会は、その目的が達成されたときに解散する。

2 解散するときの収支決算において、剰余金又は欠損金が生じたときは、総会でその処分を決する。

(補足)

第15条 この会則に定めのあるもののほか、必要な事項は会長が別に定める。

附 則

1 この会則は、平成19年7月3日から施行する。

2 実行委員会の設立当初の会計年度は、第14条第2項の定めにかかわらず、設立総会の日から平成20年3月31日までとする。

高岡開町 400 年記念イベント実行委員会 役員名簿（案）

顧 問	富山県知事	石井 隆一
	高岡市市政顧問	佐藤 孝志
	高岡市市政顧問	石澤 義文
	北日本新聞社代表取締役社長	梅沢 直正

参 与	富山県議会議員	井村 昭彦
	富山県議会議員	柴田 陽子
	富山県議会議員	矢後 肇
	富山県議会議員	山上 正隆
	富山県議会議員	山本 徹
	富山県議会議員	横田 安弘
	富山県議会議員	渡辺 守人

（参 考）

会 長	高岡市長	橘 慶一郎
副会長	高岡商工会議所会頭	南 義弘
	高岡市議会議長	二上 桂介
監 事	高岡市副市長	高田 哲
	高岡商工会議所副会頭	中村 絢一

高岡開町 400 年記念イベント実行委員会

常任委員会 委員名簿（案）

役 職	氏 名	団体・役職 等	備 考
委 員	穴田 甚朗	高岡市農業協同組合代表理事組合長	
〃	荒井 公夫	末広開発(株) 代表取締役社長	
〃	伊藤 雄一郎	高岡商工会議所青年部 会長	
〃	河合 晋	高岡市商店街連盟 会長	
〃	国本 樹郎	伝統工芸高岡漆器(協) 理事長	
〃	関 久幸	高岡市ホテル旅館組合 理事長	
〃	高柳 卓三	高岡商工会議所 副会頭	
〃	竹平 栄太郎	(社)高岡アルミニウム懇話会 会長	
〃	玉井 晶夫	万葉集朗唱の会にいざなう会 会長	
〃	辻 やす子	地域女性ネット高岡 代表	
〃	中井 明子	高岡市観光ガイドボランティア「あいの風」代表	
〃	野上 和義	(社)高岡青年会議所 理事長	
〃	羽場 光明	高岡南部地域活性化協議会 会長	
〃	細呂木 六良	高岡市芸術文化団体協議会 会長	
〃	増岡 一郎	福岡工場協会 会長	
〃	水名 昭二	高岡市連合自治会 会長	
〃	元井 實	伝統工芸高岡銅器振興(協) 理事長	
〃	奥田 紀元	高岡市 副市長	
幹事	岩坪 正人	高岡市 経営企画部長	
幹事	山達 是人	高岡商工会議所 専務理事	

(50 音順)

平成 19 年度 高岡開町 400 年記念イベント実行委員会事業計画（案）

平成 19 年度においては、平成 21 年の高岡開町 400 年の節目の年に向けて、開町 400 年の意義を周知し、市民の心をひとつに盛り上げていくため、広報活動事業や二年前イベントの開催をはじめ所要の事業に積極的に取り組むものとする。

1 . 広報活動事業

- 1) イメージポスターの作成
- 2) デザインマニュアルの作成
- 3) ホームページの作成
- 4) マスコットキャラクターぬいぐるみの制作
- 5) キャッチフレーズの選定・活用
- 6) 嚶鳴フォーラムへの参加

7 月 28 日（土）・29 日（日）東京において開催される、全国の郷土の偉人を顕彰する「嚶鳴フォーラム」（東海市などが主催）に参加し、わが高岡開町の祖「前田利長公」を全国から集まる人々にアピールする。

- 7) その他必要な事業（万葉集朗唱の会、なべ祭りなどでの告知活動）

2 . 二年前イベントの実施

- 1) 高岡開町 400 年記念講演・シンポジウムの開催

- ・日 時：9 月 13 日（木）午後 6 時 30 分～
- ・場 所：高岡文化ホール 大ホール
- ・テーマ：高岡学講座
～歴史を紡いで 400 年。これから私たちができること～（予定）
- ・主 催：(社)高岡青年会議所、高岡商工会議所青年部

- 2) 開町 400 年記念イベント「あげよう高岡の夢」（仮称）の開催

巨大紙風船（熱気球）を上げて、市民の皆さんに開町 400 年をアピールする。

- ・開催日：9 月 15 日（土）
- ・場 所：高岡古城公園
- ・主 催：高岡開町 400 年記念イベント実行委員会
世界文化遺産を目指す高岡市民の会
高岡志貴野ライオンズクラブ

3 . イベント企画の立案など

平成 21 年に実施する本イベントを実りあるものとするため、各イベント企画の具体的な立案作業を行う。

平成19年度 高岡開町400年記念イベント実行委員会収支予算(案)

1. 収入

款	項	金額(千円)	摘要
1. 補助金		6,200	
	1. 市補助金	6,200	高岡市補助金
2. 事業収入		1	
	1. 事業収入	1	
3. 諸収入		1	
	1. 諸収入	1	
収入合計		6,202	

2. 支出

款	項	金額(千円)	摘要
1. 事業費		5,100	
	1. イベント費	2,000	企画費、2年前イベント開催費
	2. 広報企画費	3,100	企画費、ホームページ、ポスター、ロゴ、キャラクター等制作費
2. 事務局費		1,102	
	1. 事務局費	1,102	総会、常任委員会等の会議費、一般事務費
支出合計		6,202	

高岡開町 400 記念事業シンボルマークについて

1. 制作者 前田一樹 富山大学芸術文化学部長

2. 制作意図

平成 21 年 高岡開町 400 年を迎え、そのシンボルマーク制作にあたり、基本イメージを加賀藩二代目藩主前田利長が築いた「高岡城の堀」と考え、シンボルとして制作。

また、開町の文字は「高岡の路地」をイメージし、ロゴタイプとして作成。

使用している赤、黄、黒の色は利長公の甲冑や装束の色を、基本色として選び、シンボルマークを制作した。

3. シンボルマーク



高岡開町 400 年記念事業のキャッチフレーズについて

1. キャッチフレーズ

最優秀作品

「 時をこえ 心をつなぐ 高岡開町 400 年 」

- ・コンセプト 高岡の 400 年を振り返ることにより、人と人の心をつなげ、多くの人に高岡を知ってもらいたい。
- ・制作者 松田 翼 さん 27 歳 富山県高岡市

優秀作品

「 鳳凰に守られ 人々に愛され 高岡開町 400 年 」

- ・制作者 玉井 ^{しゅうと} 嵩都さん 10 歳 (定塚小 5 年生) 富山県高岡市

「 時をたどり 夢をえがく 高岡開町 400 年 」

- ・制作者 山本 ^{とよこ} 和代子 さん 46 歳 富山県高岡市

2. 応募状況等について

- ・募集期間 平成 19 年 4 月 1 日 ~ 5 月 15 日 (46 日間)
- ・応募総数 1, 327 作品
- ・応募人数 847 人 (内 小学生 77 人、中学生 89 人)
応募者の内訳 市内 341 人、県内 49 人、県外 457 人
- ・賞 最優秀賞 1 点 (10 万円)、優秀賞 2 点 (3 万円)

3. 選定について

選定基準

- ・未来に向けて、新たな決意・期待や夢・希望を感じられたり、表現したもの。
- ・高岡を全国に発信できるもの。
- ・語呂がいい、リズムカル、表現が端的、わかりやすいもの。

選定委員会

- ・開催 平成 19 年 6 月 25 日
- ・選定委員 高岡開町 400 年記念イベント実行委員会設立準備検討会
委員長 高柳卓三高岡商工会議所副会頭

高岡開町 400 年記念イベントのキャラクターについて

1 趣 旨

高岡開町 400 年の記念すべき年を市民全体で祝い、全国の多くの方々に「高岡」を知っていただく良い機会となるよう、高岡開町 400 年記念イベントの P R および記念イベントの推進に寄与するために、「利長くん」(下図)を高岡開町 400 年記念イベントのキャラクターとするもの。

なお、キャラクターの「利長くん」については、着ぐるみを制作するなど、ロゴマーク、キャッチフレーズ等とともに広報宣伝活動を展開していく

2 キャラクター



利長くん

備 考)

キャラクター「利長くん」は、7月21日(土)にリニューアルオープンする高岡市立博物館の常設展示の案内役。